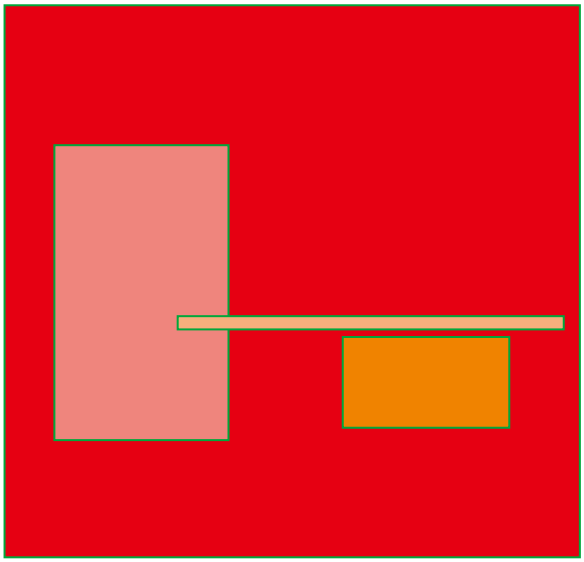
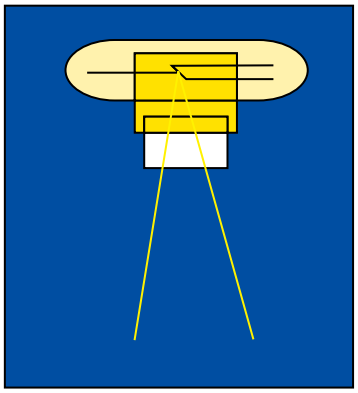
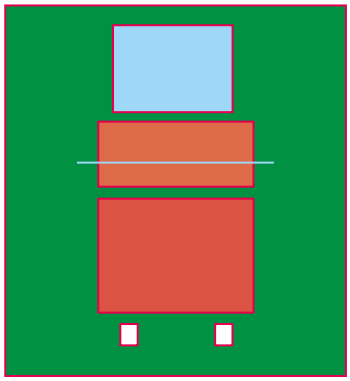
三重県放射線技師会誌

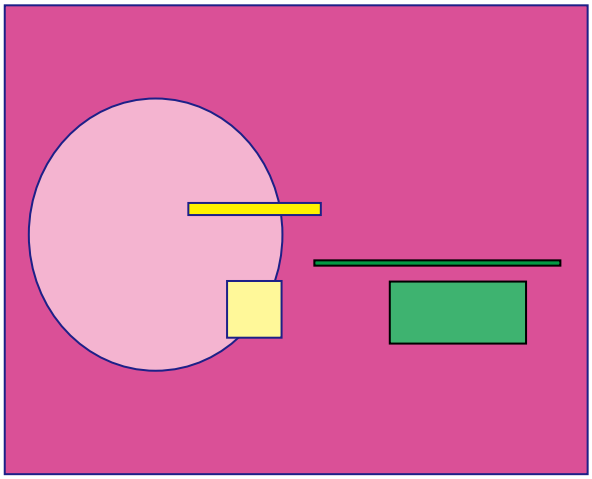
The journal of the Mie
Association of Radiological Technologists

web版









301号 2024.2 vol.74 No.2

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人　日本診療放射線技師会

綱　　要

1．わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those to need of health care.

1．わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team

1．わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.

1．わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.

1．わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

301号
Vol.74 No.2

CONTNETS

□ 巻頭言 4

□ お知らせ 7
公衆衛生事業功労者知事表彰
早春学術講演会

□ 活動報告 10
北勢消化器画像研究会 講演会 OFF LINE MEETING
レントゲン週間企画報告
令和5年度 津・榊原地区研究会

□ 議事録 17
令和5年度 第4回 理事会
令和5年度 第5回 理事会（メール）

□ 編集後記 23

一般社団法人　**三重県診療放射線技師会**
〒514-0032　津市中央2-4　三重ビル 502号
TEL/FAX (059)225-1491
H.P. : https://mieart.jp/
e-mail : contact@mieart.jp
郵便振替　00800-5-15152
銀　　行　百五銀行津駅前支店
普通預金口座番号　0203779

□　巻頭言

「新年のご挨拶」

三重県診療放射線技師会会員の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げるとともに、令和6年1月1日に発生した、「令和6年能登半島地震」にて被害に遭われた方々とそのご家族に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

私は、毎年陰陽五行説を基にした60通りの暦の紹介から２月巻頭言を始めさせていただいております。

令和6年の干支は、十干の「甲」と十二支の「辰」をあわせた「甲辰（きのえ・たつ）」です。「甲」は十干の始まりで「生命や物事の始まり。次の10年のスタート」を意味します。そして十二支の「辰（たつ）」は、十二支の中で唯一、中国で生まれた想像上の神聖な生き物である辰（龍）で、「成長する様子」を意味するとのことでした。

「龍」という字は紀元前17世紀の中国で、そして龍の姿については紀元前2世紀末の書物で記述があるそうで、人間と伝説の龍との関係は2千年以上になるんですね。書物によると「龍の姿」は、角が鹿、頭はラクダ、目が鬼、うなじが蛇、腹は蜃（みずち。こちらも蜃気楼を作り出す伝説の生き物のようです）、鱗が魚、爪は鷹、掌は虎、耳は牛と、９つもの生物が合体した伝説の生き物でした。そういえば私がこども時代には、ヒーローアニメで「超合金」といわれる合体ロボットが流行りました。そして今も日曜日の朝には、スーパー戦隊シリーズが放映され、様々な個性を有するヒーローや合体ロボットが活躍し子どもやおとなが夢中になれる時間を届けてくれています。

さて、本題です。

一昨年から、静脈路確保など診療放射線技師が新しい役割を担うための準備「告示研修」が開始されました。昨年度も多くの会員の皆様が参加されました。スタッフとして当方が会場で見学させていただく中で感じたことは、とくに昨年度は参加者の年齢や所属施設が一昨年度よりも多様になったこと

です。卒業後1年目の方はもちろん、退職されセカンドキャリアとして活躍される先輩方、職場では静脈路確保は行う予定はないが診療放射線技師として必要だから、と多くの皆さんが研修に取り組まれていました。本県技師会の告示研修は、「鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス」で開催しています。研修会場は広く清潔でとても良い環境と思います。また、皆様を丁寧に熱心に指導していただくファシリテータや医師の先生方をはじめ、多くの皆さんが力を合わせていただいているお陰で、スムースな告示研修が実現できています。この場をお借りして関係の皆様に改めて深く感謝申し上げます。一方、いよいよ来年度の新4年生は在学中に「告示研修」を受講し、その後の学生たちは学内実習でタスク・シフト/シェアの観点から放射線部門の業務拡大を見越した授業カリキュラムを受けて卒業します。来年度も県内での告示研修を開催いたしますが、まだ告示研修を受講されていない方で三重県内での受講を希望される場合は、早目の受講をよろしくお願いします。

また、令和6年能登半島地震では、日本診療放射線技師会(以下JART)が災害支援に積極的に活動されています。本会界外会長はJART災害対策委員会の委員長を務められており、発災以降、各所との連絡調整に奔走されておられます。また県内でも災害対策支援にご協力いただいている先生方が多くおられます。現地にて支援を担う先生方に深く感謝を申し上げるとともに、自施設での勤務体制を守っておられる皆様にも感謝いたします。

「龍のようにそれぞれの個性をうまく合体し、チーム力として成果を高めるために何が必要か」。技師会でも職場でも、地域でも家庭でも、チームスポーツでも、同じ課題があげられると思います。

この課題を解決するために必要な要素を3つ挙げると①計画性、②メンバーお一人お一人が何のためにこのチームに参加しているか、やチームの目的（ゴール）の共有度、③チーム内の心理的安全性、と考えます。私自身、日々、少しでもこの3つの要素を充実させたいと努力、自省しています。

さて、三重県診療放射線技師会活動におきましては、卒業生数の増加や告示研修の実施を背景に、近年会員数が増加してございます。病院で勤務される会員の皆様にとってはタスク・シフト/シェアによる業務拡大による雇用拡大が期待されるところかと存じますが、病院だけではなく、診療所や健診施設などで勤務される皆様、また社会人数年目の方、出産・育児中の方、シニア層の皆様など、技師のキャリアや価値観には多様な考え方が今後も広がっていくと考えます。

本会といたしましては、役員一人一人の力をうまく合体結集し、会員の皆様から信頼していただける組織を目指してまいります。

3月には、コロナ禍後、久しぶりとなる対面型の早春学術講演会が企画されました。講演会後には情報交換会も開催されます。オンライン講習会の便利さは利点ですが、対面ならではの良さもあります。例えば「参加している人と情報交換」「チャットで講師に質問すると微妙なニュアンスが伝わりにくいけど対面はそれがない」「情報交換会で他の施設の人とお話しできる」「久しぶりに同級生に会えた」などです。

3月9日（土）14:00～、情報交換会は16:45～、三重大学　臨床講義棟　第２講義室へ、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、会員の皆様にとって本年が良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

□　お知らせ

公衆衛生事業功労者知事表彰

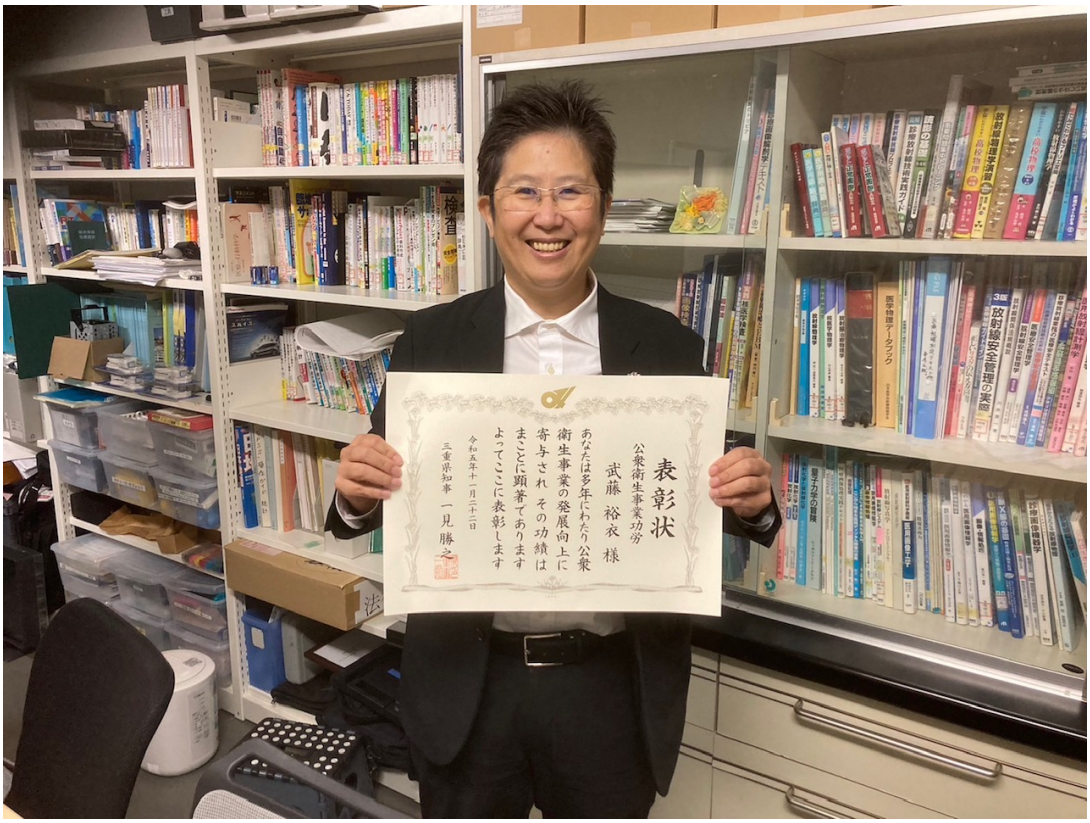
武藤裕衣氏が公衆衛生事業功労者知事表彰を受賞

令和 5 年 11 月 22 日に、本会副会長の武藤裕衣氏が令和 5 年度公衆衛生事業功労者知事表彰を受賞しました。

この賞は、公衆衛生事業のために献身的活動を続けその功績が顕著であり公衆衛生事業に携わる者の模範となる者を表彰することにより、公衆衛生の向上に資することを目的に三重県知事が行うものです。

武藤氏は、平成 14 年に三重県診療放射線技師会理事に着任され、現在は副会長として県民の疾病予防、健康教育を中心とした社会貢献活動に率先して取り組んでおられます。またこれまで（公社）診療放射線技師会（以下 JART）理事、日本放射線技師教育学会会長、JART 臨床実習分科会会長、学術教育委員等を歴任し、技師の資質向上、女性技師の活躍推進、そして臨床実習指導の質向上を目指してこられました。また、同氏は平成 7 年より鈴鹿医療科学大学にて教育活動に従事されながら、平成 20 年より県内高等学校での特別授業講師や三重県消防学校での放射線災害に対する講師も務められています。これらの取り組みが高く評価され、今回の受賞に至りました。

誠におめでとうございます。



(一社)三重県診療放射線技師会 早春学術講演会

日　時 ： 2024 年　3月 9 日 （土） 14：00～
会　場 ： 三重大学医学部 臨床講義棟 第2講義室

開会の辞　三重県診療放射線技師会　会長　界外 忠之 先生

学術情報14:05～14:20　PDRファーマ株式会社
認知症および変性疾患の核医学的診断について弊社製品の最新情報

14:20～15:00
教育講演　座長 ：市立四日市病院　丹羽 正厳 先生
核医学　医療被ばく線量の電子化への道
PDRファーマ(株) ソフト開発部 夜久英樹

15:00～15:15　― 休憩 ―

15:15～16:15
特別講演　座長 ：三重大学医学部附属病院　山田 剛 先生
最新画像診断に関する当施設の取り組みと将来展望　-核医学を中心に-
三重大学医学部附属病院　放射線科　准教授　市川泰崇 先生

閉会の辞　三重県診療放射線技師会　副会長　武藤裕衣 先生

16:45～　情報交換会　三重大学 第２生協

＊ 本会は、日本診療放射線技師会の生涯教育カウント付与対象となります。
＊ 本会は、日本X線CT専門技師認定機構の認定研究会で認定単位 1単位が与えられます。
＊ 本会は、日本救急撮影技師認定機構の認定研究会で認定単位 2単位が与えられます。
＊ ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。
＊ 当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご芳名のご記帳をお願い申しあげます。
なお、ご記帳頂いたご施設名、ご芳名は医学･薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

共催：三重県診療放射線技師会・PDRファーマ株式会社

会場　地図

会場
臨床講義棟２階
臨床第2講義室

□　活動報告

北勢消化器画像研究会　講演会　OFF LINE MEETING

報告者　JCHO 四日市羽津医療センター　伊藤誠
日時　2023 年 11 月 4 日（土）　14:00～18：30
参加人数　22 名

COVID-19 の流行により現地対面での開催を自粛してきたが、３年半ぶりに現地で研究会を行ったので報告する。

今回は、発表内容を鑑みて写真撮影・録音・SNS への投稿など、会場からの情報流出を禁止したため、画像の掲載は控えさせていただきます。悪しからずご了承ください。

初心者セミナー「すとまっぷを用いた示現領域の理解」

講師　松波総合病院　若井信悟先生

胃 X 線撮影を行う上で、胃のどの部分を観察・撮影しているか理解することは、過不足ないスクリーニングを行う上で重要である。北勢消化器画像研究会においても再々にわたりこのテーマに取り組んできた。

胃には解剖学や診断学において多くの区分が存在し、統一がなされていない。
胃 X 線検査の二重造影において粘膜面示現領域の評価を行うために考案された「すとまっぷ」を紹介するとともに、活用の方法について解説していただいた。

更には、十二指腸へ流出したバリウムによる障害を自身の撮影例を用いて解説し、十二指腸のバリウムによる影響を最小限に抑える方法について伝授していただいた。

教育講演　「嚥下と誤嚥　基礎から対処法まで」

講師　JCHO 四日市羽津医療センター　言語聴覚士　南川瑛奈先生

高濃度バリウムが世に発売されてすでに３０年以上が経過しているが、高濃度低粘性バリウムの普及により、バリウムの誤嚥が増えて少なからず問題となっている。

四日市羽津医療センターで摂食嚥下・口腔ケアに携わっておられる南川先生に嚥下と誤嚥について講演していただいた。

口腔から食道に至る解剖、咀嚼・嚥下のメカニズムや、摂食時の姿勢、誤嚥をさせないための注意点、誤嚥した場合の対処方法などについて詳しく解説していただいた。

誤嚥を防ぐには飲むときの姿勢や視線が特に重要で、顎を引いて視線を水平にして少しずつ慌てずに飲んでもらう様にとご指導いただいた。

また、ノーズフィットカップという鼻が当たる部分を切り抜くことでコップを傾けるだけで飲むことができるアイテムをご紹介いただき、参加者や講師から来週から是非とも実践したいと好評であった。

後日、参加者より自施設にて実践し、好評を得ているとの連絡を頂戴し講師に謝意をお伝えした。

特別講演「失敗から学ぶ撮影技術」

講師　岩手県予防医学協会　久保田憲宏先生

失敗をしない初心者は存在しない。しかし私たちは他者の失敗を教訓として学び同じ失敗を繰り返さない様にすることは可能で、「安全運転」で日々の検査を行うには、どのようにすべきかについて撮影困難例を例に挙げ解説をしていただいた。

印象に残っているのは、基準撮影法を標準の撮影手順とするものの、その手順が全く通用しない症例を例にあげられ、この症例の場合は、基準撮影法の手順で撮影しようとした場合、まともに胃の内面を評価できない撮影になって失敗してしまうので、頭を切り替え「今、胃のどの部分を観察撮影しているか、どこまでカバーできているか」を常に考えながら撮影を行う方法（安全運転）について解説していただいた。

久保田先生は岩手県の研究会活動についても紹介していただき、若手技師の積極的な研究会への参加や世代交代が積極的に行われている点を述べられており、今後の研究会活動において見習うべき多くの事を教えていただいた。

特別企画「実践！胃 X 線画像の画質評価」

司会進行　日本消化器がん検診学会　東海北陸支部技師代表　西川孝先生

評価解説　岩手県予防医学協会　久保田憲宏先生

今回の企画は、画質に関する教育有効性を評価する目的により行った。
事前に用意された数例の胃 X 線画像を供覧し、会場の参加者に全員に評価をしてもらい点数を記録してもらった。

粒状性・鮮鋭度・濃度・空気量・造影効果・コントラスト・至適標準体位・総合評価について 10 点満点でそれぞれ評価して、解答用紙に記入してもらった。

一連の症例の評価を終えたところで、岩手予防医学協会の久保田憲宏先生より、評価をする上で、画像の粒状性・鮮鋭度・濃度・空気量・造影効果・コントラスト・至適標準体位の項目ごとにどこを見て何が良い点で何が悪い点なのかについて詳しく解説をしていただいた。

画像評価の解説を終えたところで、さらに数例の症例を評価して記録してもらった。
記録用紙を回収して研究会を終了した。

今回、協力いただき得られたデータは、後日集計し報告する。

３年半ぶりに現地にて研究会を行い対面コミュニティの重要性を改めて実感した。
今後、オフラインミーティングやハイブリッド開催にも積極的に検討していきたい。

レントゲン週間企画報告

（一社）三重県診療放射線技師会

副会長　武藤　裕衣

記

１．名　　称　　レントゲン祭

２．日　　時　　令和４年 11 月 11 日 12 日　午前 10 時 00 分　～　午後４時００分

３．場　　所　　鈴鹿医療科学大学　白子キャンパス３号館

４．イベント運営担当者

界外会長、堀会員、武藤副会長、山下会員、永澤会員、松浦教育委員、中舍会員、細川会員

５．参加者数　会員　０名(一般特別できず)、一般　1032 名

６．詳細報告

令和 5 年 11 月 11 日と 12 日の 2 日間、鈴鹿医療科学大学　白子キャンパスで「放射線技師のしごと体験」を開催いたしました。当日は、鈴鹿医療科学大学の碧鈴祭（大学祭）の期間中でもあり、同大学放射線技術科学科との共同企画としてイベントを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、2 日間で小学生以下の小さなお子様から中学生高校生、また高齢者の方まで 1,032 人の一般の方が参加いただき、大盛況となりました。

ここでイベントの内容を少し紹介します。ファントムを用いた超音波検査（エコー）体験のほか、CT 画像から３D 画像を作成するコーナーを設け、会員が鈴鹿医療科学大学の学生と一緒に一般参加者に説明を行いました。また、この他、会場では、エックス線写真のパズルやストラックアウト、スタンプラリーなど、アトラクション的な企画が設けられ、会員と学生が協力して運営を行いました。会場からは参加者の皆様が楽しく会話する様子が見受けられました。来年度以降もぜひ継続してこの活動を続けていきたいと考えます。

最後に JART 上田会長をはじめ役員皆様、諸先輩方をはじめとする県役員皆様、会員の皆様、協力いただいた鈴鹿医療科学大学の学生皆さんをはじめすべての皆様にあらためて感謝申し上げ、企画報告とさせていただきます。

以上

図　当日の様子

令和5年度 津・榊原地区研究会

代表世話人：津ごとう整形外科クリニック　白藤　裕敏

開催日時：令和 5 年 11 月 11 日(土) 17：00～19：45

場所：武内病院　講堂

参加人数：38 名

令和 5 年 11 月 11 日、武内病院 講堂にて令和 5 年度第 2 回津榊原地区研究会を開催しました ので、概要を報告いたします。

1．第一部-メーカー講演 『キャノン CT 最新情報～AI から高精細、そしてその先に～』
キャノンメディカルシステムズ株式会社
CT 営業推進･アプリケーション担当 宮澤 大輔先生
Deep learning を用いた AiCE や Photon-counting CT など AI や高精細撮像の最新技術の講演をしていただきました。

2．第二部-講演 1 『立位 CT の使用経験と可能性』
藤田医科大学病院 放射線部 CT 担当 尾崎 壮太 先生
藤田医科大学病院に導入された「立位 CT」の使用経験と臨床での適応や将来的な可能性について講演をしていただきました。

第二部-特別講演- 『当院におけるタスクシフト導入経緯と現状での取り組み』
藤田医科大学病院 放射線部 CT 部門責任者 片方 明男 先生
藤田医科大学病院でのタスクシフトの取り組みと実績・実例を交えて講演していただきました。

3．総括

メーカー講演を含む 3 演題を聴講しました。AI や PCCT など最新技術には期待が膨らみました。藤田医科大学病院に導入された立位 CT は津榊原地区の病院・クリニックでは触れる機会はなかなかなかなく、どう臨床に活かしていくか興味深かった。2024 年 4 月から施行される医師の働き方改革では、放射線技師が医師、看護師の業務を分担していく必要があり、すべての技師が積極的に取り組んでいかなければならない。

今回のように、最新情報や最新機器の使用経験、タスクシフトを既に導入している施設からの講演等、クリニックから小、中規模病院でも気軽に情報共有できる研究会として今後も活動していく予定です。

次回：未定
次回の研究会は決定次第、研究会 LINE ならびに技師会ホームページよりお知らせする予定です。

□　議事録

令和5年度 第4回　理事会

1 開催日時　　令和 5 年 12 月 18 日(月)19：00～21:02

2 開催場所　　Web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、安本 浩二、
難波 一能、小林 篤、太田 茂治、四竈 明日香、草川 拓也、山下 剛、
星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫、福田 剛史
【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝
【教育委員】松浦 佳苗

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、19:00 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 17 名のうち 16 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

5 議事録作成　福田 剛史

6 議事

【決議事項】

新入会員の承認

新入会 5 名、転入者 1 名の入会の可否について決議を行った結果、賛成多数により入会が承認された。

【検討事項】

(1) 第 17 回中部放射線医療技術学術大会（CCRT）について

第 17 回 CCRT は三重県が当番開催であり、日程・会場・大会長など決める必要がある。

第 16 回岐阜大会開催時には理事の中から担当を決め、前日の準備より確認が必要である。

大会長は拡大会長会議・CCRT 運営会議で可能な限りの報告を準備する。

・開催日程は 2025 年 11 月の土・日

・会場候補地は鈴鹿医療科学大学・四日市文化会館（開催期間中は改修工事）・都ホテル等

・大会長は JSRT 側から、JART 側より大会長の選出を要望

(2) 第 74 回三重県診療放射線技師会定時総会について

・開催日時：令和 6 年 5 月 19 日（日）13 時開始

・場所：三重大学医学部臨床講義棟　第 2 講義室（仮）

・選挙管理委員選任：北勢地区（三重県立総合医療センター）、中勢地区（武内病院）、南勢地区（済生会松阪総合病院）から 1 名ずつ、計 3 名に依頼
令和 6 年 1 月中に選挙管理委員を決定し、事務局にて選挙管理委員会会議を開催する。令和 6 年 2 月 10 日（土）までに選挙管理委員長を選出

・議長の選任：西田先生（市立伊勢総合病院）に依頼

・スケジュール（今回は役員改選の年となるため早い段階で作成）

＊理事選挙の告示：立候補締め切り 1 か月前（2 月 16 日（金））

＊理事立候補の締め切り：総会 2 か月前（3 月 18 日（月）到着分まで）

＊選挙管理委員会より理事選挙の委員会報告

＊4 月 5 日（金）山中会計士に会計資料提出
＊4 月 6 日（土）7 日（日）で監査
＊4 月 8 日（月）監査・業務理事会開催（事務所）、資料受取
＊業務理事会にて総会資料の確認および修正、総会議長の選出、修正原稿を印刷、会員に配布
＊質問は総会の 1 週間前に締め切り
＊4 月 15 日（月）理事会開催（web）
＊総会資料の作成（事務局）

(3) 県技師会スタッフジャンパーや幟の作成について

界外会長より、県技師会の各種イベントや災害時の応援の際に、『スタッフジャンパーや幟』が効果的であると購入の提案があった。
反対意見もなく承認された。総務・広報一任にて行う。

(4) 一般社団法人三重県診療放射線技師会学生表彰規定について

武藤副会長より継続審議事項である鈴鹿医療科学大学優秀学生の学生表彰規定についての上程があった。表彰される学生は 1 名で、副賞は 5000 円程度の図書カードに準ずるものとした。
決議の結果、賛成多数で承認された。（R6 年 3 月の卒業式より実施）

(5) 育児休業に伴う三重県診療放射線技師会費免除の申請について

会員から『施設で育児休業を承認されたので会費免除の申請をしたいが、申請用紙等方法がわからない』と問い合わせがあった。総務担当業務理事が確認を行い、当会では申請用紙自体を作成しておらず、JART への申請で自動的に県技師会会費の請求が止まるように処理されていることが判明した。
会員および会費等に関する規程・第 8 条では、『本人の申し出により、理事会の決議で免除をすることができる』となっており、正式には JART とは別に県技師会にも会費免除の申請が必要となる。
また JART への申請のみで会費免除を承認する場合は「会員・会費規程」を改定し、総会での決議が必要となる。これに関して理事会で議論を行った。
→現状の規程・第 8 条に沿い、会員が会費免除申請用紙を当会に提出し、理事会で承認することとなった。
（総務にて会費免除申請用紙の作成を行う）

【会長報告事項】

(1) レントゲン週間事業について

令和 5 年 11 月 11 日（土）・12 日（日）、鈴鹿医療科学大学白子キャンパスにて大学学園祭との共同事業で、第 3 回レントゲン週間事業を開催した。
延べ 50 人程度の放射線技術科のボランティアの学生により、診療放射線技師の仕事紹介・3D ワークステーションによる画像体験・超音波検査体験等を行った。放射線ブースには子供から高齢者まで 1032 名の一般参加者の来訪があり大盛況であった。検査の体験中に『病気に関する質問』や『エコーとマンモどちらが良いのか』等の質問を受けたため、次年度は技師会ブースとして診療放射線技師が質問に応じるコーナーの設置を検討していきたい。
また技師会から学生への食事提供も大変好評であった。次年度も事業を継続していきたいが、キャノンからのエコー装置の貸し出しは、輸送コストの関係で今回限りとなるため検討が必要である。
（AMIN からの 3D ワークステーションに関しては継続）

（2）令和 5 年度公衆衛生事業功労者知事表彰について

11 月 22 日（水）、「令和 5 年度三重県医療保健および子供・福祉関係功労者感謝の集い」にて、当会から推薦した武藤裕衣副会長が公衆衛生事業功労者知事表彰を受賞された。技師会雑誌にて原稿を掲載する。

（3）第 6 回循環器関連セミナー後援依頼について

三重県臨床工学技士会より後援の依頼があった。本セミナーは毎年開催されており、以前から当会の後援承認を得ていたため規定に沿って承認した。

（4）第 6 回 JART 理事会より報告

・旅費規程　旅費は勤務施設から用務地まで、宿泊費 13000 円、旅行雑費一律 3000 円に規程変更
・Ai 分科会→オートプシー・イメージング分科会へ名称変更
・統一講習会、告示研修は 2025 年度まで各県で開催続行
・JARTIS のメールアドレス更新
・債権回収実績　600 万円以上の回収
・JART 弁当代の値上げ　1500 円
・アンギオ室寝台、C アーム操作権の厚労省通達

（5）令和 5 年度公衆衛生事業功労表彰について

当会から推薦していた四日市羽津医療センターの森田不二夫先生の表彰が決定した。
表彰式：令和 6 年 2 月 20 日（火）、東京開催（出張費は病院支給）
表彰者：三重県から他 3 名

（6）三重県臨床検査技師会 75 周年記念式典について

令和 5 年 10 月 21 日（土）、三重県臨床検査技師会 75 周年記念式典に出席した。参加者は約 80 名であった。
来賓：三重県医療保健部長（知事代理）、三重県医師会会長、三重県病院協会理事長、日本臨床衛生検査技師会専務理事、三重県看護協会会長等、13 名
知事表彰：2 名
賛助会員感謝状表彰：54 社
臨床検査技師養成学校感謝状表彰：鈴鹿医療科学大学臨床検査学科、四日市看護医療大学臨床検査学科
記念講演会：辻製油（株）辻保彦代表取締役会長

（7）令和 5 年度三重県医療事故調査等支援団体連絡協議会について

令和 6 年 2 月 8 日（木）、三重県医師会館にて開催される協議会に、界外会長と武藤副会長が出席する。

【会長活動報告】

1. JART 会長と若手会員の懇談会に参加した。9 月 25 日（web）
2. 鈴鹿医療科学大学評議員会に出席した。9 月 27 日（鈴鹿医療科学大学白子キャンパス）
3. 第 39 回 JCRT に JART 理事として参加した。9 月 28 日～10 月 1 日（熊本城ホール）
4. 第 5 回 JART 理事会・入魂式に出席した。10 月 7 日（鈴鹿医療科学大学・web）
5. 第 66 回三重県超音波研究会運営委員会に出席した。10 月 10 日（web）
6. 日本診療放射線技師連盟理事会に出席した。10 月 13 日（web）

7. 三重県臨床検査技師会創立 75 周年記念式典に出席した。（プラザ洞津）
8. 中日本会長会議に出席した。11 月 8 日（web）
9. 中日本業務改善推進委員会に出席した。11 月 9 日（web）
10. 第 3 回レントゲン週間事業に参加した。11 月 11 日（鈴鹿医療科学大学白子キャンパス）
11. 日本診療放射線技師連盟支部長・全国会長合同会議に出席した。11 月 15 日（web）
12. 第 15 回 CCRT に参加した。11 月 24 日～26 日（AOSSA 福井県）
13. 第 6 回 JART 理事会に出席した。12 月 2 日（web）
14. JART 教育委員幹事会に出席した。12 月 3 日（web）
15. JART 分科会・委員会合同会議に出席した。12 月 3 日（web）
16. 日本診療放射線技師連盟理事会に出席した。12 月 4 日（web）

【副会長・業務理事・理事報告】

(1) 基礎講習会（MRI 検査）について（山田副会長）

令和 5 年 12 月 2 日（土）に鈴鹿医療科学大学にて基礎講習会が開催され、参加者は 64 名であった。

(2) 新春学術講演会提案（山田副会長）

以前開催されていた新春学術講演会の名称を変更し、令和 6 年 3 月 9 日（土）に講演会を執り行う事が提案された。尚、本会は現地開催で、講師料・懇親会はメーカー側より提供される。

→反対意見もなく承認された。

(3) 冬季セミナーについて（武藤副会長）

令和 5 年 12 月 14 日（木）に Web にて開催された。参加者は 41 名であった。

(4) 財務担当より報告（森田業務理事）

各委員会の委員長は来年度の予算申請を 1 月末までにメールにて提出をする。

(5) 総務担当より報告（安本業務理事）

・助成団体の候補締切日を令和 6 年 2 月 11 日（日）とした。各助成団体代表に連絡し、ホームページにも掲載する。締め切りは基本的に 2 月第 2 日曜日とした。

・各委員会の開催手順

各委員会委員長より会議申告書を提出（会長・総務担当業務理事）→議事録・旅費申告書を提出（会長・財務担当業務理事・総務担当業務理事・三重県診療放射線技師会事務局）

・退会に関して

各自、退会届をホームページからダウンロードし提出する。退会届の様式を変更する事とした。

尚、退会届の提出した翌年度から退会となる事を追記した。

(6) 編集・広報委員会より報告（浅沼業務理事）

・県技師会メール配信サービス vol.224～241 を配信した。

・ホームページに JARTIS のメールアドレス変更について掲載した。

・第 7 回三重県診療放射線技師学術大会の写真を会員専用ページに掲載予定。

(7) 学術・教育委員会より報告（丹羽業務理事：界外会長代弁）

令和 5 年 12 月 10 日（日）鈴鹿医療科学大学にて第 7 回三重県診療放射線技師学術大会が開催され、参加者は 84 名（学生 22 名）であった。来年度以降、他の会との重複に注意し日程を調整する。

反省点：一般演題募集、大会内容告示の遅延、県外への広報

(8) 教育委員報告（松浦教育委員）

〈中日本地域教育委員会報告〉

・フレッシャーズセミナー各県の取り組みについて、セミナーは各県で開催

・告示研修：4 回

・統一講習会は県内開催はなし

・基礎講習会：CT 基礎講習のみ開催予定

・告示研修の受講者数：三重県 302 名（JARTIS のシステム上）

〈今年度教育委員会企画〉

・令和 6 年 1 月 7・8 日（日、月）統一講習会

・令和 6 年 1 月 27、28 日（土、日）告示研修

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21:02 に閉会した。

上記の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 5 年 12 月 18 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和5年度　第5回　理事会（メール）

1 開催日時

令和 6 年 1 月 12 日(金)18 時 30 分発議-令和 6 年 1 月 15 日(月)17 時審議終了

2 配信者　一般社団法人三重県診療放射線技師会 会長 界外 忠之

3 回答者氏名　【理事】山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、丹羽 正厳、森田　英稔、難波 一能
太田 茂治、山下 剛、星野 吉昭、清水 孝哉、大友　秀夫、福田　剛史

4 議事録作成　安本浩二

【決議事項】

（議題１）

選挙管理委員の承認について

以下の３名が選挙管理委員に推挙されました。

選挙管理委員として承認するか否かについて決議を求めます。

〈候補者〉

・刀根淳也（県立総合医療センター）

・横谷領希（武内病院）

・徳本勝久（済生会松阪総合病院）

（議題２）

原子力災害時に要請があれば県技師会として協力することについて

承認（賛成）か否（反対）かについて決議を求めます。

【採決期間】

・令和 6 年 1 月 12 日(金)18 時 30 分発議-令和 6 年 1 月 15 日(月)17 時審議終了

【審議結果】

当該提案につき議決権を有する理事の過半数以上が回答し、その全員から電磁的記録により承認が得られたので、定款 32 条に基づき、当該提案は決議されました。

上記の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 6 年 1 月 15 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外　忠之

□　編集後記

少し遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。

令和6年の最初の会誌をお届けします。

今週の寒暖の差を感じつつ、雨が降るごとに暖かくなっていく期待をしています。

先日も洗車していると、雲雀の鳴き声が聞こえてきました。雲雀は『春告げ鳥』、すぐそこまで春が来ています。

三重県診療放射線技師会　301号　Vol.74　No.2

発行日　2024年2月22日
発行所　〒514-0032 三重県津市中央2-4　三重ビル 502号
一般社団法人　三重県診療放射線技師会
TEL/FAX　059-225-1491
ホームページ: https://mieart.jp
facebookページ : https://facebook.com/mieprefart
E-mail : contact@mieart.jp
発行人　界外　忠之
制　作　三重県診療放射線技師会編集班